



高知県

## アサギマダラの飛来する魅力ある地域づくり

基にしたモデル的なプログラム

赤とんぼを通して地域の良さを見つけよう。

作成団体

勝山市立荒土小学校

地域プログラム化メンバー

高知工科大学、アサギマダラの里in秋葉山、四万十町立窪川小学校、高知県林業振興・環境部新エネルギー推進課、株式会社西日本科学技術研究所、株式会社RKCプロダクション、高知県森林研修センター情報交流館、香美市立片地小学校

実証協力校等

香美市立片地小学校

SDGsの要素



ESDの要素



能力/態度



### ● プログラムの概要

アサギマダラについて知っていることや疑問などを出し合い、専門家にその生態やマーキングの方法、その狙いなどを学ぶ。その後、アサギマダラが飛来する里山において捕獲、観察、記録、マーキングをするとともに、周辺の自然環境を観察し、生態系等についても学ぶ。卵や幼虫の数、大きさの変化を記録することで、命の大切さなどに気づく。また、地域の人から里山(秋葉山)の歴史、文化を聞き、一緒に地域の米や水でご飯を炊き、おにぎりを作り味わう中で地域の魅力やつながりを意識する。これらの体験をふまえ、自分たちがこれから大切にしたいことをわかりやすく伝えるため、協力し合ってまとめ、地域の人や全児童に対して発表する。

## ● プログラムの目標

1. アサギマダラが卵から蝶になるまでの観察を通して、その一生に関連する事柄へ関心を持ち、地域の多様な自然環境の認識や探究する力を育てる。
2. 生き物の成長する過程で命を大切にすることを育てる。
3. 地域の人や環境保全団体等のお話を聞いて交流する中で、地域の魅力に気づくと共にコミュニケーション力や共感力を育てる。
4. 他の児童と協力し合い、学んだことや大切にしたいことをまとめ、他の人に伝える力を育てる。



地域の山で、アサギマダラの卵・幼虫を観察



飛来したアサギマダラを捕獲



NPOの方からアサギマダラの生態について学ぶ

## ● 参加者の声

- 卵があってびっくりしたけどがんばって生きてほしいと思った。
- 僕のマーキングしたアサギマダラが奄美大島まで飛んだ。
- アサギマダラの一生には土や水、雨も、木や植物を通して関係していることがわかった。

## ● プログラムの流れ

1 時間目	コンセプトマップを作ろう！
2 時間目	アサギマダラの生態について知ろう！
3・4 時間目	アサギマダラのマーキングをしよう！
5・6 時間目	アサギマダラの産卵状態を観察しよう！
7 時間目	秋葉山と地域のつながりを知り、これからの行動を考えよう！
8・9 時間目	考えをまとめ、発表の準備をしよう！
10 時間目	発表しよう！